

「しっかり止まって、はっきり確認！」降雪時の子ども達の登下校の安全にもご注意をお願いします。

四年

ポーナスで 理想のお家 ゲットさせ
 クリスマス せつたい来てね サンタさん
 大みそか おおきな食べて はらういこばい
 大みそか 夏の思い出 消えてく
 ストーンつけ あったかい場所 うばいあい
 雲合戦 楽しく遊び 冬の日だ
 冬になり 町じゅう湯たんぽ だらけかな
 寒いねと コタツに入り ミカン食べ
 冬夜空 大三角が かがやいて
 十七日は みんなが好きな はらうの日
 ハタハタが すくついたら ちいさいな
 フクロウが アンテナまわり ホーホ鳴く
 母さんが すき風「いけてる
 ぶるぶるで あついでいまで かせきひく
 子ねたち「こたつにはいる 歌がある
 大みそか 家族みんなで 歌うたう

五年

雪まが 待っても待っても まだこない
 餅食べに みんなが集まる 大みそか
 お父さん ポーナスもらい 大こっかん
 おでん食べ 家族みんなに 笑顔さへ
 手袋が 私の赤い手 守ってる
 息白し 家の庭にも けしきあまる
 冬休み 入ってすぐ「日記書い
 冬休み まだかまだかと 待たほしい
 納豆汁 体の奥が 熱くなる
 クリスマス みんな待ってる サンタさん
 クリスマス 雪が降るのか 降らないか

木村 亮雄
 神藤 大地
 国井 紗里奈
 五十嵐 遼
 大泉 夕奈
 三浦 瑠平
 佐竹 いずみ
 高橋 尚寛
 大谷 真弓
 斎藤 秀人
 那須 雄太
 逸見 大成
 鈴木 久留美
 原田 友輝
 細谷 瑞貴
 鈴木 奈緒美
 大沼 雪子
 菊地 甚一郎
 阿部 駿貴
 野尻 理奈
 長尾 牙夏
 川村 美涼
 安食 文哉
 今井 雄平
 武田 晃翔
 伊藤 晃平
 遠藤 諒

六年

お正月 妻家のみんなは 元気です
 手作りの 門松かざる 祖父自まん
 年の暮れ ばあちゃんせつせつ「豆をいじる
 クリスマス 心に光が ともす夜
 雲が降り 私も街も 白くなる
 しもやげが 今年も私を 苦しませ
 久々に 雪にふれた手 赤くなる
 初雪だ まっで弟 シャンプーする
 ハムスター 呼んでも寒くて 出てこない
 クリスマス 自然に笑みが こぼれ出す
 すきま風 兄弟揃って くしゃみする
 初雪に 家のねじりが 丸くなる
 白鳥が 空を自由に 飛んでいる
 ばあちゃん「柚子湯につかり 昔話
 雲が舞い 月に照らされ タイヤみたい
 外はと「ネコも私も 息白し
 白鳥も 雪ういてし「舞い降りる
 帰の道 みぞれがささきり 降ってきた
 初雪を さわって喜び 屋根の上
大人の部
 寒い時 みんなでなへを つつきあつ
 寒い朝 あいさつするたび 白い息
 陽にあたり キラキラ光る 白い雪
 父と子で 門松つくる 年の暮れ
 家中で 声をかけあい 大でうじ
 サンタさん 私の願いは 家一軒
 野籠場 どこも満はい ポーナスサンデー
 年の瀬の フックスがけで 家族の輪
 遠慮がち 初雪降を 薄化粧

加藤 宇美
 阿部 穂乃花
 大沼 穂希
 逸見 千裕
 逸見 千裕
 佐藤 有華
 逸見 優生
 庄司 恵莉
 秋葉 颯
 北村 直人
 近藤 文哉
 武田 昌太
 山口 拓哉
 阿部 美空
 尾形 さやか
 佐藤 佑衣子
 鈴木 智帆
 高橋 慶
 武田 郁美
 柴橋 香菜 祖母
 西田 陽菜 母
 安孫子 琢 母
 高橋 尚寛 母
 高橋 尚寛 母
 佐藤 佑衣子 母
 渡辺 有紀 母
 おやまのみえこ
 夢野 継木

身を焦がす 嵐々の恋の 実りかな 夢野 継木
 冷水の 流れる様を トシモロす 夢野 継木
 タラハカニ 家族団欒 歳々たり 夢野 継木
 時雨でさき 心を許す 街灯の 夢野 継木

心を育む給食週間

「食」について考えよう
 ■十一月二十八日から十二月四日までの一週間、学校では「心を育む給食週間」の取り組みが行われました。食へることの大切さについて考え、食にかかわる人々や食材に対する感謝の気持ちをもち、いのちをつないでいる「食」への理解と関心を深め、豊かな心を育む食育の一環としての取り組みです。初日、全校朝会で校長が校務にめる「指導徳翁の言葉」で「薬食同源」をゆくとうげん」とい言葉についてのお話をしました。■クリスマス毎に栄養士さんから食事と健康についてのお話を聞いたり、調理師さんと給食を一緒に食べ、感謝の手紙を渡したりしました。

著「おん恵」と親との
 おん恵 君と親との
 恩を味わえ
 「いただきます」
 箸を置く時に思えよ
 報恩の道に怠り
 ありはせぬかと
 「うちをうけとまら」
 二宮尊徳翁の語
 平成六年心と育む給食週間 安食 洋一

薬食同源

季節毎の食材にはその季節に必要なミネラルビタミンが豊富に含まれている。旬の食へ物がおいしいのは、それらを体が必要としているからだ。なんでもよくかんで体にいい食材を日常から食べて健康を保つことが大事である。特に朝食は体に必要で一日分の栄養をとる大切なものである。平成六年心と育む給食週間 安食 洋一

■お話を聞いた二宮尊徳翁の言葉を整理し、示して贈る給食をいただきました。
 ■地域の皆さまのおかげで、子ども達も大きな事故にあたりずともなく過すことができた。■みなさん、来年はぜひお話を聞いてください。